

2015/1/2

しろひげ@Kurobane です。

新しい年になりました。

明けましておめでとうございます。

「明けまして、という挨拶には希望がこめられている」、

とは幸田露伴の子、幸田文さんの「明けまして」という随筆の結びです。

2015 年が希望に満ちた一年でありますことを、心から祈りながらメール上ではありますが、皆さんとこの言葉で年頭の挨拶を交わしたいと思います。

年の初めに一年間のカレンダーを見れば、そこにはまっさらな空間が広がっています。

これから自らの手で書き込むことが出来る私たちの未来がそこにあります。

新しい手帳には未知の歳月が並びます。

きびしい世相ですが、空白で待つページに、不安でなく希望を見てとりたいものです。

それぞれの「希望」を、自らの胸の内に秘めるのも、他人に吐露するのも、元日だけに許さる  
ことです。

そんなきっかけになるような詩をご紹介します。

『年頭の誓い』 谷川俊太郎

笑うべき時に大口を開けて笑うことを誓う

夕焼けはぽかんと眺め

人だかりがあればのぞきこみ

美談は泣きながら疑うことを誓う

.....

誓いを破って悔いぬことを誓う

空行の・・・には、皆さんそれぞれの誓いを入れてみてはいかがでしょうか。

混迷の世ではありますが、年の初めの幸を喜び、気分新たに歩み出しましょう。

一年間、私からの月初めの挨拶に、これからもどうぞお付き合いください。

黒羽根整形外科

黒羽根洋司